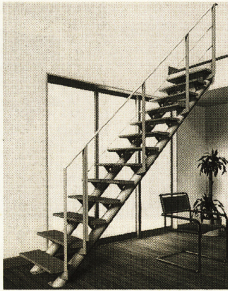


メディア掲載情報

媒体名	住宅ジャーナル
掲載号	2007年1月号
掲載日	
掲載内容	カツデンアーキテック インタビュー記事

新年特集 企業・団体21選



「オブジェアー（ファイ）」のワイヤー手すりタイプ

「浸透するのに1年くらいかかったが、今やっと花が咲き始めた」と坂田社長も話すように、段々「オブジェアーシリーズ」の認知度も高まり、今年も5割アップを見込んでいる。

また今年には工場の設備を増設する。現在、月産150台体制だが、設備が完成

アルミ手すりや、住宅用スチール階段の製造販売及び、取引先へのOEM製品を扱っているカツデンアーキテック株式会社（東京都中央区日本橋小網町、坂田清茂社長）は、工場設備を整え、さらなる製品製造の充実やコストダウンを図る。

現在、カツデンアーキテックが展開する事業の中での高売上は外装材のOEM製品の製造販売。積水ハイムや旭化成、ミサワホームなど大手ハウスメーカーが主な取引先で年間17〜18億円に上る。続いて外観のアルミ手すりの製造販売、そして今年5年目を迎える

「アルミは人間の生活に必要な材料で、代替品も見つかっていないが、アルミを使わないという流れになってしまいう可能性もある」と懸念している。

これに対して、スチール階段部門は年間トータルで前年比160%になる見込みで好調だという。今年で5年目となるこの事業は同社が先駆者となって開拓してきた。

スチール階段・アルミ手すり 今年度は月産400台体制に

カツデンアーキテック

スチール階段の製造販売と続く。この中で、アルミ手すり部門に関しては、2年前と比べて2倍になったというアルミ地金の高騰が影響して、売上が横ばいである。これに関して坂田社長は「アルミは人間の生活に必要な材料で、代替品も見つかっていないが、アルミを使わないという流れになってしまいう可能性もある」と懸念している。

これに対して、スチール階段部門は年間トータルで前年比160%になる見込みで好調だという。今年で5年目となるこの事業は同社が先駆者となって開拓してきた。

すると月産最大で400台の生産能力となる。特にこれまで外注だった塗装のラインを作ることで、納期の短縮やコストダウンが図れるという。

カラーに関しては、ツートンカラーなど独自のカラーパリエーションを増やしていく。さらにISO9001及び14001の取得も予定している。

既存事業以外では、環境や景観に配慮した自転車置き場の製作にも取り組み、現在試作段階だという。これは坂田社長がヨーロッパに視察に行った際、景観に配慮した自転車置き場を見つけた、日本でも必要になるのではないかと、取り組み始めたもの。今年4月の商品化を予定している。

TEL 03-5652-5890

